

自然環境保全センター所内研修に参加しました

令和2年11月26日（木曜日）

●自然環境保全センターの所内研修に、パークレンジャー3名も参加させて頂きました。4個所の事業現場を回り、その内容の解説を受けました。

<世附国有林>



世附国有林の苗木の植栽地

・東京神奈川森林管理署の方から、人工林を伐採した後に再度苗木を植栽した現場について解説を受けました。

シカの採食を防ぐため、植生保護柵等の設置を行っています。様々な工法や資材のテストを行い、効果的な方法の検証を行っているとのことでした。

・それにしても、参加者のみなさんはカラフルな色のヘルメットを被っていますね。これには訳があります。シカのおしりは白色をしています。白色ヘルメットを被っているとハンターの方にシカと間違えられる恐れがあります。それで林内で作業する職員は、目立つ色のヘルメットを被るようにしています。

<三国峠>



ブナ林の林床植生の解説を聞く参加者

・丹沢の最西部に位置するブナ林の林床植生の状況についての解説を受けました。

・ここ数年でニホンジカの生息密度が高まり、そのため林床を占めるスズタケは、シカによる採食から後退しつつあるとのことでした。

・三国峠周辺では草原が多く見られます。そのためこの地域特有の草原性の植物が見られるそうです。

<大涌谷>

- ・大涌谷自然研究路の再開に向けた安全対策施設の整備状況を見学しました。
- ・噴石、火山ガス、土石流などの対策について解説を受けました。



新たな誘導標識や緊急避難路が整備された自然研究路



直径 30 センチの噴石に耐えられるシェルター



防災用品が格納されているシェルター内部

(令和 2 年 12 月現在、自然研究路は未公開です)

<箱根、二子山>



少花粉苗木が植えられた植栽地

- ・二子山県有林での花粉発生源対策業務の解説を受けました。
- ・県有林では木材生産から再造林までの作業を一貫して実施することで、低コスト化を図りながらスギやヒノキの人工林を、花粉を全く出さない、又は少ししか出さないスギ、ヒノキに植え替える花粉発生源対策を積極的に行うとのことです。